

こぶし	No.50	上越こぶし山の会
	1987 7-23	<sup>943</sup> 上越市東本町5-1-38 杉本敏宏 0255(24) 3787

## 8月定例山行の計画(案)

8月のお盆の休暇を利用して、下記のような定例山行を計画しました。

人で賑わう白馬岳と、訪れる人の少ない雪倉岳・朝日岳へと縦走します。このコースはまた、高山植物が豊富な所でもあります。

日程的には、2日でも行けるコースですが、余裕をもって、ゆっくりと自然を満喫できるように3日としました。

そして、最終日には、蓮華温泉で汗を流して帰る予定です。

1. 山域            白馬岳周辺
2. 日程            1987年8月14日-16日(3日間)
3. コース
 

	14日	上越市	7:30		蓮華温泉	12:00
		白馬大池	14:00		白馬岳	17:00
	15日	白馬岳	6:00		雪倉岳	10:00
		朝日岳	15:00			
	16日	朝日岳	6:00		蓮華温泉	12:00
		上越市	17:00			
4. 食料等        後日、参加者で協議。
5. 宿泊            いずれも、幕営。
6. 交通            自家用車を使用
7. 費用            交通費、食費を含め、1万円。

参加希望者は、杉本会長(TEL 24-3787)まで。

1987年

## 新潟県登山祭典実施要項(案) 決まる!

- [主催] 新潟県勤労者山岳連盟  
[後援] 中魚沼郡津南町観光協会  
[目的] 新潟県連に結集する各会の和と力で広く地域に登山を普及させる。  
また、参加者(会員・一般)の交流親善により、地域登山並びに県連の発展に寄与する。  
[対象] 会員及び一般(小学生以下は、保護者同伴とする)  
[規模] 100名以上(各会会員の50%とする)  
[期日] 8月29(土)・30日(日)  
[場所] 中魚沼郡津南町山伏山森林公園  
[参加費] 大人 500円 小人 200円

県登山祭典は、労山新潟県連にとって、最大のイベントです。目的にもありませんように、交流・親善が中心の催し物ですので、高い山には登りません。初秋の一日をおおいに楽しみましょう。

参加希望者は、大島事務局長(TEL 43-0834)まで。

本の紹介

「上越の大地をさぐる」 ¥1300.-  
高田幸野団体研究グループ著

この本は、上越地方の小中学校・高校・大学の先生方が、日頃の研究の成果を小中学生にもわかるように、わかりやすく書いたものです。地域の山に登る時、一読しておくといふ多くのものを得る二七ができてしまう内容の本です。

杉本が取扱かっています。

権現岳—銚ヶ岳 (6月21日)

参加者 嶋田夫妻 杉本 他5名

高田	6:15
柵口	7:30—50
胎内くぐり	9:05
白山神社奥社	9:30
権現岳	10:30
トッケ峰	11:20
銚ヶ岳	12:20—13:00
金冠	13:25
島道鉦泉	15:25—16:30
高田	17:30

前日の雨があがるかに見えたが、歩きだして、稜線にでるまでに振り出した雨は、一日中降り続いた。その雨の中を歩き通した。途中で会ったのは、たった二人。それに銚ヶ岳頂上の避難小屋で登山道整備に来ていた早川の人達だけ。

車2台で出発し、島道鉦泉下に1台置いて、柵口へ。新しくできた露天風呂まで車を入れる。頸城地方では、最も急登というだけあって、きつい登りだ。胎内くぐり、挟み岩、白山権現と過ぎ、権現岳からトッケ峰へ。雪消えを待ってシラネアオイが咲いている。

トッケ峰から銚ヶ岳へは、吊尾根だ。いたる所に残雪があり、ミズバショウ、ザゼンソウが咲き、良質の竹の子が取れる。

銚ヶ岳頂上の避難小屋で昼食・休憩。登山道整備に来ていた早川の人達と歓談する。

大沢岳から金冠へ廻る。やせ尾根から金冠の頭に立ち、急坂を下る。

島道鉦泉に着くと、柵口へ車を取りに。そして鉦泉につかり、汗を流して帰宅した。

至仏山—尾瀬ヶ原 (7月11—12日)

参加者	杉本	大島
7/11	高田	7:10
	夷浜	7:40
	鳩待峠	11:55—12:25
	小至仏	14:00
	至仏山	14:45—15:05
	山の鼻	16:54
7/12	山の鼻	6:30
	ヨッピー橋	7:30—8:10
	竜宮小屋	8:40—55
	山の鼻	10:00—11:00
	鳩待峠	11:45—12:10
	松の山温泉	15:30—16:00
	夷浜	16:30—17:40
	高田	18:00

梅雨が明けず、どんよりとした二日間だった。それでもたいした雨は降らず、花を見るには、暑くもなく寒くもなく、丁度よい日だった。

1日目に至仏山に登り、2日目に尾瀬ヶ原を散策した。尾瀬ヶ原では、大衆登山で来た糸魚川労山の仲間にあった。130名もの大所帯だ。

車で鳩待峠まで入り、山の鼻で幕営した。